

ケーブルクレーン計画数量表

架線番号	規格	支間水平距離 (m)	垂下運搬水平距離 (m)	傾斜角 (度)	備考
NO.1	1t未満	355	90 (山腹中間付近)	34	資材等 起点:人工支柱
NO.2	2t以上3t未満	340	65 (NO.3土留工)	37	重機分解・組立、資材等 起点:人工支柱

モノレール計画数量表

規格	設置延長(終点) (m) (適応工種)	運搬斜距離 (m) (適応工種)	平均傾斜角 (度)	備考
500kg積, 30°以上	210 (筋工、伏工)	中間90 (筋工、伏工) 下部50 (筋工、伏工)	31	軽資材及び人員

- 運搬工**
山腹工を施工するにあたり、平面図に示すとおり県営林道南アルプス線を利用して大型車両により資材等を運搬するとともに、県営林道南アルプス線沿いの残土処理場跡地に作業ヤードを設置する計画とした。
また、荷揚げ場とする比較的通風のよい県営林道南アルプス線から本線縦断線の斜面沿いに資材等を運搬するNO.1ケーブルクレーンと、支線のNO.3コンクリート土留工方向にNO.2ケーブルクレーンを架設し、重機資材等を運搬する計画とした。
さらに、軽資材の運搬及び作業員の移動の負担軽減を図るため、県営林道南アルプス線から山腹工右側斜面を通り正面山腹工の上部付近までモノレールを架設する計画とした。
- コンクリート工**
NO.3土留工のコンクリートの打設は、県営林道南アルプス線からケーブルクレーンによる計画とした。
NO.3土留工：垂下運搬水平距離 L=65m
- 落石防護工**
山腹工支線斜面には既設コンクリートブロック積が倒壊していることから、取壊し撤去に際し、下部斜面を横断している保全対象である県営林道南アルプス線への落石等を防止するため、大型土のう積(1トン)を計画した。
規模：2段、L=20.0m、60袋(3袋×20m)

NO.1ケーブルクレーン
1t未満
支間水平距離355m
傾斜角34°

モノレール
500kg積, 30°以上
設置延長L=210m
平均傾斜角31°

NO.2ケーブルクレーン
2t以上3t未満
支間水平距離340m
傾斜角37°

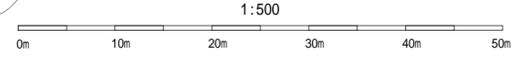
仮設工:大型土のう積(1トン)
規模:2段、L=20.0m、60袋

NO.3コンクリート土留工
L=12.0m, H=2.5m, V=22.5m³

S62コンクリートブロック積土留工
取壊し撤去 A=6.4m², b=0.4m, V=2.6m³

除地
A=267.9m²

山腹工施工面積
A=0.46ha(4556.7m²)



(野呂川地区 コワシ崩)

年度	令和 6 年度
図面名	仮 設 計 画 図
施行地	山梨県南アルプス市芦安芦倉 山梨県有林地内
工事名	野呂川地区(コワシ崩) 直轄治山工事 (R6補正)
図面番号	縮尺 1 : 500
設計者	製図者
関東森林管理局	山梨森林管理事務所